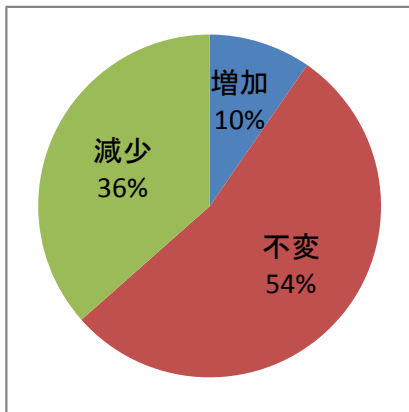


## ■ データから見た業界の動き

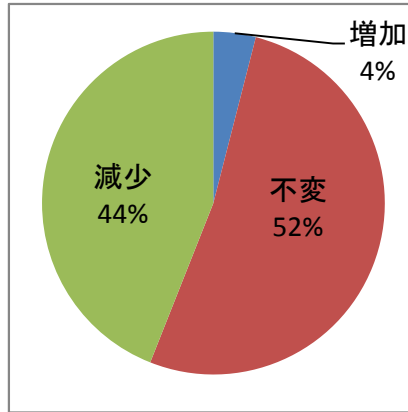
(平成26年2月分)

● 2013 / 2

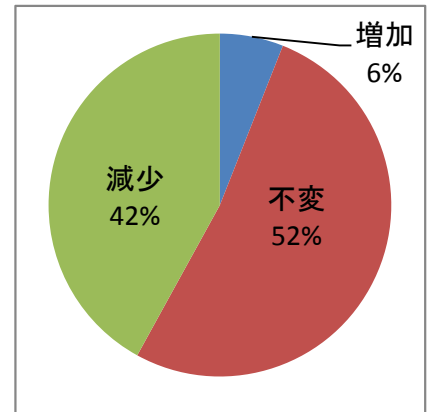
売上高 (前年同月比)



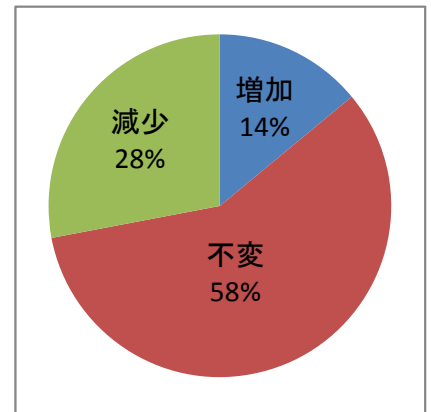
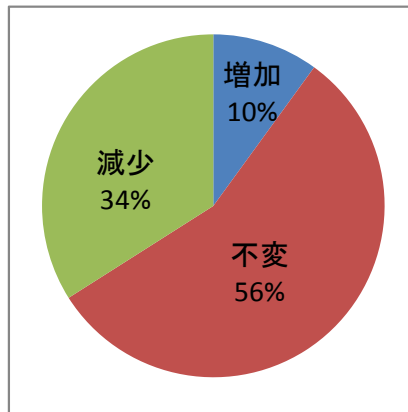
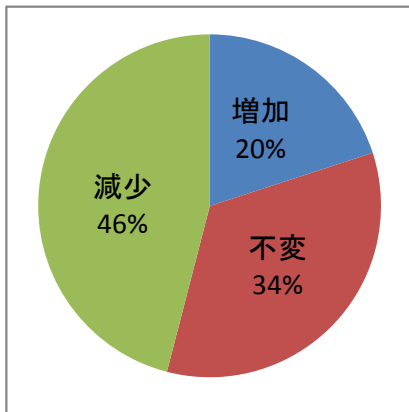
収益状況 (前年同月比)



景況感 (前年同月比)



● 2014 / 2



## ■ 対前年同月比及び前月比景気動向D I値 (好転又は増加の割合から、悪化又は減少の割合を引いた値)

対前年・前月・当月	製造業			非製造業			合計		
	2013/2	2014/1	2014/2	2013/2	2014/1	2014/2	2013/2	2014/1	2014/2
売上高	-35	35	0	-23	17	-43	-28	24	-26
収益状況	-40	20	-5	-40	-17	-37	-40	-2	-24
景況感	-30	20	0	-40	-20	-23	-36	-4	-14

※((良数値÷対象数)×100) - ((悪数値÷対象数)×100) = D.I値

## ■ 概 況

本県2月の景況は、全業種のD I 値が、売上高-26（前年同月比+2）、収益状況-24（前年同月比+16）、景況感-14（前年同月比+22）となっており、前年同月比は全ての項目が改善している。業種別のD I 値では製造業で、売上高±0（前年同月比+35）、収益状況は-5（前年同月比+35）、景況感±0（前年同月比+30）。非製造業では、売上高-43（前年同月比-20）、収益状況-37（前年同月比+3）、景況感-23（前年同月比+17）となった。

前月比のD I 値は、製造業の売上高は35ポイント、収益状況は25ポイント、景況感は20ポイントと大きく悪化。非製造業でも、収益状況が60ポイント、売上高が20ポイント、景況感も3ポイントと悪化しており、大雪による影響が大きかった。

情報連絡員による県内の2月の業況報告は、4月からの消費税率の引き上げを控え住宅建設や公共工事等が牽引となり景気は回復傾向にあったが、2度の大雪により一変した。

製造業では、大雪による操業停止や交通障害による配送業務の停滞により売上減となった報告が多く寄せられた。また、消費税率引き上げ後の受注減を懸念する報告があった。

非製造業は、大雪により小売業や宿泊業等は来客数の減少や施設被害等、業況を一気に悪化させる要因になった。また、建設関連は大雪によりさらなる工期の遅延と人手不足を懸念する報告が多く寄せられた。

## ■ 業界の声

情報連絡員には、景気動向の変化、現状とその背景などについて、業界または組合員全体の動向・予測(売上高・原材料等経費・資金繰りなど)についてコメントを求めた。

### ● 製 造 業

食料品（水産物加工）	前月売上増の反動や大雪の影響による操業停止、配送業務の停滞、スーパー等のギフト商品が低調等となり、全体の売上は前年同月比86%。利益面も円安による原料高により大変厳しい。
食料品（洋菓子製造）	豪雪により2工場が4日間の操業停止や交通障害による配送停止となり、売上は前年同月比97%。
食料品（ワイン）	大雪の影響により組合員企業の施設や葡萄棚（自家農園）に被害があった。さらに、契約栽培葡萄農家のハウスの倒壊が甚大であるため、今後、継続できるか懸念される。
繊維・同製品（織物）	カーテン等のインテリア関連の売上が伸長。
繊維・同製品（アパレル）	若干上向き傾向。
木材・木製品製造	大雪の影響で、住宅現場の進行の遅れ、建て方延期等が発生し、プレカット工場の稼働は激減。
家具製造	消費税増税前の駆け込み需要で活況している。

窯業・土石（砂利）	景気動向は前月から右肩上がりだったが、大雪の影響により1週間程度入荷が滞り、売上等に大きな影響があった。
一般機器(1)	大雪のため休業、交通障害等で売上に影響がでている。
一般機器(2)	大雪の影響により、2日間休業した組合員企業もあった。
電気機器	消費税増税を控え駆け込み需要が増加。しかし、消費税率引き上げ後の受注減を懸念する。
その他(鉱業)	H24年度・H25年度の景気対策効果が現れ始め、前年比は88%まで回復し、明るい兆しが見え始めた。
その他(宝飾製造①)	消費税増税前の駆け込み需要と高額品の売れ行きが好調で在庫負担も軽減している。消費税増税後の落ち込みを懸念する。
その他(宝飾製造②)	消費税増税前に発注増を見込んでいたが、全くない状況。

## ● 非製造業

卸売（塗料）	大雪の影響により、ここ数ヶ月で一番の落ち込みとなったが、稼働日数の割合には落ち込みは最小限に止まった。
卸売（ジュエリー）	組合員企業の格差があるが年間売上5億円以上の組合員企業は好転している。しかし、消費税率引き上げ後の影響が懸念される。
小売（青果）	大雪のための入荷量の減少に伴い、販売数量も減少したため全体として販売価格は横ばいで推移。
小売（食肉）	大雪の影響で、流通機能が停止しスーパー等では食材が品切れとなったが、地元の食肉小売店は商品を提供でき売上も前年比4%増となった。消費税率引き上げの消費低迷を懸念する。
小売（水産物）	大雪のため、飲食店の需要が激減。また、歩道が通行できないことや買いだめによる商品の供給が一部困難な状況にあった。
小売（自動車）	2月は大雪の影響で売上減。年度末に向けて消費税増税の駆け込み需要がある一方で、その後の反動減は大きな懸念材料となっている。
小売（石油）	軽油、灯油等の価格は据え置かれたが、需要が減少しているため経営環境が悪化している。
商店街(1)	雪の影響もあり来街者が少なくなり売上が減少。特に、アーケードのないところは雪が残り集客が難しい状況。
商店街(2)	大雪の影響により、商店街は3～5日間機能せず客足が戻るのに10日以上かかった。突然の災害により出費もかさみ長期に亘り消費低迷を懸念する。

商店街(3)	2度の大雪で売上、客数が悪化。
不動産取引	住宅地の売れ行きは低迷しているが、中古住宅、中古マンション、建売住宅の購入者が増加。
宿泊業(1)	2度の大雪でキャンセルが多発した。施設設備にも被害が出ており1軒で最高7千万円の損失が見込まれるホテルもあり、通常影響に戻るには時間がかかりそうだ。
宿泊業(2)	2度の大雪の影響により、キャンセルが多発した。業者への支払もあり資金繰りが厳しい。
美容業	大雪の影響により、来店客がほとんどいない。2週間経っても客足は戻らない。
警備業	2度の大雪の影響により公共工事の延期等、大幅な減収となった。また、交通誘導や雑踏警備を主体としている100人規模の企業は、1,000万円程の損失となった。
建設業(総合)	大雪により除雪作業に追われ手持ち工事が中断したため、工期の遅れや資金繰りを圧迫している。
建設業(住宅関連)	雪害による屋根等の補修工事依頼が増えているが廻り切れていない。消費税増税に絡む工事で納期の遅れが懸念。
建設業(鉄構)	消費税増税前の駆け込み需要が多少感じられ、4月以降の落ち込みを不安視。建設業全般に渡る材料費の高騰、職人不足は相変わらず。
設備工事(電気工事)	大雪の影響により、年度末に向けて建物の完成時期が重なる工程の遅れと人手不足が懸念。
設備工事(管設備)	除雪作業を優先した影響により一部工事の遅延が懸念される。今後、消費税率引き上げの反動減が危惧される。
運輸(タクシー)	大雪の影響で各社で2～3日の運行休止となった。また、営業を始めても交通障害により運行時間が通常の2～3倍かかったため、予約による運行ができず収入減。
運輸(バス)	2月の予約は前年度よりも多かったが、大雪の影響によりキャンセルが続出し大幅に売上が減少。
運輸(トラック)	2度の大雪の影響により、運行キャンセルが発生し売上が減少。その後、増発依頼もあったが交通障害による車内待機時間が大幅に増加したことにより、労働時間が延長できない制約を受け運行不可となる事例も出て収益が悪化。雪害による果実などの出荷量の減少や消費税率の引き上げによる消費の落ち込みに伴う輸送量の減少等の影響も懸念。